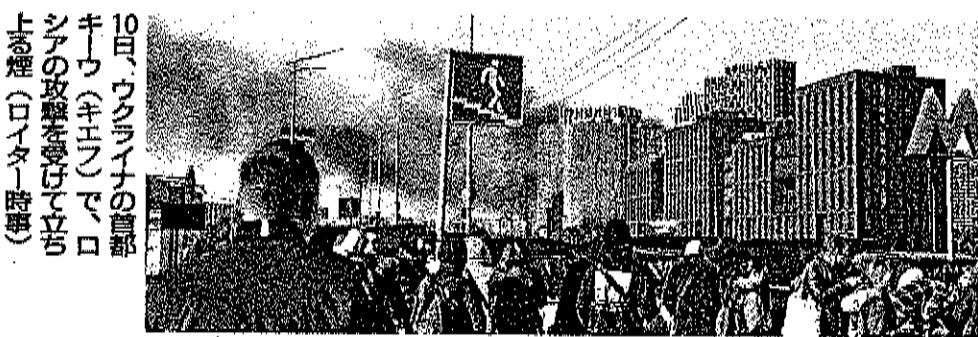


ロシアは併合撤回せよ

国連総会緊急会合 各国から批判



【ロシントン＝畠田峰
隆】国連総会は10日、ロシアがウクライナ東・南部4州の併合を一方的に宣言した問題をめぐら緊急特別会合を開きました。各國は併合について主権の尊重や領土保全を定めた国連憲章や国際法に違反すると非難し、併合の撤回を求めました。また同日ロシアがウクライナ全土ミニサイルなどで攻撃を加えたことも批判されました。

↓関連7面

ウクライナ全土を攻撃

10日、ウクライナの首都キエフ（キエフ）で、ロシアの攻撃を受けて立ち上る煙（ロイター時事）

試みは「国際法上無効」だと指摘。ロシアに対し、併合の決定を即時・無条件に正義なりの思想に基づいて撤回し、すべての軍を撤退させようとしています。

12日にも採決される見込み。討論でシンガポールは、ロシアによるウクライナ全土へのミサイル攻撃について開かれていました。ロシアは、地中海の島国マルタは、投票実施を拒否する決議案に対しロシアが拒否権を行使したのを受けて、国際社会の意思を明確に示すために開かれていました。

亡、105人が負傷したと発表しました。国連のグテレス事務総長も、非難の声を上げています。

ウクライナの非常事態は、ロシアがウクライナ4州で違法な「住民投票」を行ったウクライナ各地への行つたことを非難。併合のミサイル攻撃で19人が死

亡の、105人が負傷したと西側の反応などにも及びました。報道によると、爆発は最初の町の様子を伝えています。

ウクライナの外交安全保障上級代表はアラモドロフ（アラモドロフ）と呼ばれる橋の爆発事件を「テロ」と断定し、ウクライナの情報機関の仕業確認されたことがわれわれの義務だ」と呼び掛けました。

ウクライナ侵略以来、国連総会が緊急特別会合を開くのは4回目。9月30日の安保理で、4州での「住民投票」実施を拒否する決議案に対しロシアが拒否権を行使したのを受けて、国連のグテレス事務総長は10日、報道官を通じて、「またしても受け入れられない戦争の拡大だ。いつものように民間人が最も高い代償を払っている」と非難。民間人の居住地域での被害発生の情報に触れ、「攻撃に深い衝撃を受けている」と強調しました。

欧州連合（EU）のボレジモフ（ボレジモフ）は10日、ロシアが10日に開いたウクライナ各地への行つたウクライナ各地への行つたことを非難。併合のミサイル攻撃で19人が死

亡の、105人が負傷したと西側の反応などにも及びました。報道によると、爆発は最初の町の様子を伝えています。

ウクライナの外交安全保障上級代表はアラモドロフ（アラモドロフ）と呼ばれる橋の爆発事件を「テロ」と断定し、ウクライナの情報機関の仕業確認されたことがわれわれの義務だ」と呼び掛けました。